

専門家意見聴取施設の概要と対応案について

令和2年7月7日  
ファシリティマネジメント室

部	施設名	棟名	最小 Is値 (lw)	建築構造		地震防災	対応案		備考
				阿波野 近畿大学教授	向井 神戸大学准教授	牧 京都大学防災研究所教授	ハード対策	ソフト対策	
1	県営住宅 姫寺団地	集会所	0.08	ブレース補強により偏心率の改善および強度の向上が、また方杖補強により強度の向上が図られているので良い。なお、X方向のIs値が極端に低いため優先して対応すべき施設である。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	ブレース補強により偏心率の改善および強度の向上が、また方杖補強により強度の向上が図られているので良い。なお、X方向のIs値が極端に低いため優先して対応すべき施設である。	耐震性が低く危険性が高い建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性が高い建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
2	県営住宅 平城団地	集会所	0.07	ブレース補強により偏心率の改善および強度の向上が、また方杖補強により強度の向上が図られているので良い。なお、X方向のIs値が極端に低いため優先して対応すべき施設である。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	ブレース補強により偏心率の改善および強度の向上が、また方杖補強により強度の向上が図られているので良い。なお、X方向のIs値が極端に低いため優先して対応すべき施設である。	耐震性が低く危険性が高い建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性が高い建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
3	県営住宅 北和団地	集会所	0.29	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については、地震時に倒壊の恐れがあるため撤去を検討すべきである。床から一部のCB壁を残すという方法も考えられるので、施工性やコスト等比較検討すると良い。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については全撤去を第1案とし、上部のみ撤去する案と、施工性やコスト等比較しながら検討すると良い。	耐震性が低く危険性が高い建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性が高い建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
4	県土 マネジメント 部 県営住宅 六条山団地	集会所	0.26	柱脚および土台の錆が著しい。これでは建物を補強をしたとしても、柱脚から下へ流れていく地震力を地面まで伝達できない。柱や土台の部材の取り替えを前提に対応すべきである。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	柱脚および土台の錆が著しい。これでは建物を補強をしたとしても、柱脚から下へ流れていく地震力を地面まで伝達できない。柱脚及び土台鉄骨部材の全面取替が必要であり、建替の方が合理的である。	耐震性が低く危険性が高い建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性が高い建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
5	県営住宅 稗田団地	集会所	0.29	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については、地震時に倒壊の恐れがあるため撤去を検討すべきである。床から一部のCB壁を残すという方法も考えられるので、施工性やコスト等比較検討すると良い。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については全撤去を第1案とし、上部のみ撤去する案と、施工性やコスト等比較しながら検討すると良い。	耐震性が低く危険性が高い建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性が高い建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
6	県営住宅 秋津団地	集会所	0.35	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については倒壊しないよう補強すべきであるが、撤去することも検討されたい。CB壁を撤去することによりブレース補強箇所を減らすことも出来る。また、床から一部のCB壁を残すという方法も考えられる。施工性やコスト等比較検討すると良い。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	柱と梁の接合部に不備があるが、ブレースや方杖により補強出来るので良い。CB壁については全撤去を第1案とし、上部のみ撤去する案と、施工性やコスト等比較しながら検討すると良い。	耐震性が低く危険性のある建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。なお、耐震性が低く危険性がある建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	
7	県営住宅 吉野団地	集会所	0.53	脆弱部材である火打ち梁の付け替えと隅柱の補強という簡易な施工により耐震性が上がっているので良い。すぐに工事を実施出来るのであれば、耐震改修工事を行うのも選択肢のひとつ。	火打ち梁の付け替えで耐震性が上がり、Is値が良くなるので良い。隅柱の補強をするのは良いが、耐震診断委員会の判定を取り直すのであれば、施工が出来なかった場合を考えて判定条件から外しておいた方が良い。	耐震性が低く危険性のある建物なので、集会所等、直接外に出られるのであればそちらに避難する方が良い。速やかに外に出られる方向へ避難する経路とすること。ただし、ただちに倒壊するのでなければ、揺れがおさまってから避難すること。なお、耐震性が低く危険性がある建物であることと避難経路を住民にしっかり周知すること。	空き住戸改修のうえ 仮集会所として使用	住民に避難経路を 周知	

専門家意見聴取施設の概要と対応案について

令和2年7月7日  
ファシリティマネジメント室

部	施設名	棟名	最小Is値 (lw)	建築構造		地震防災	対応案		備考
				阿波野 近畿大学教授	向井 神戸大学准教授	牧 京都大学防災研究所教授	ハード対策	ソフト対策	
8	警察本部 交番駐在所	交番駐在所 24棟※	—	<p>交番や駐在所は、いざというときに使用できないということがあってはならない建物。優先して対応すべき。特に木造は耐震改修をしても、地震による変形が残り使えなくなってしまうことがある。24時間365日機能している重要な機能の施設であり、建替えて耐震性を上げる方が良い。また地震時に周囲の建物と同じように被害を受けてはだめ。発注時に耐震性能を上げ、重要度係数を考慮すべきである。</p>	<p>既存建物の解体や設備更新の費用及び機能の継続等をトータルでみて検討すると良いが、古い建物を補強して使用するより建替えの方が良い。駐在所に24時間居住する勤務員のモチベーションや交番・駐在所を訪れる県民のことを考えると、新しい建物の方が費用対効果も高い。また、交番に女性が勤務する可能性を考えると、女性対応の施設は設置しておくべきである。既存の建物に新たに設置するのは大がかりな改修になると考えられるので、建替えの方が合理的である。</p>	<p>事務室のみに使用を限定しており、最も近い出入口から避難する経路となっているので、このとおりが良い。警察施設は重要であり、早急に建て替えるのは良い。</p>	早期建替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐在所は通勤による勤務とし、居住しない</li> <li>・事案対応、相談対応時に事務室のみ一時使用</li> <li>・危険性の周知および避難経路の確保</li> </ul>	

※ 対象となる交番・駐在所：佐紀駐在所、富雄南交番、小瀬交番、門前駐在所、湯船駐在所、鹿ノ台交番、泉原交番、法隆寺駐在所、針駐在所、鍵駐在所、朝倉台交番、天満台駐在所、檀原神宮前交番、下土佐駐在所、岡駐在所、陵西駐在所、名柄駐在所、葛駐在所、阪本駐在所、丹生駐在所、秋野駐在所、郡山駅前交番、斑鳩交番、近鉄御所駅前交番